|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価表の項目 | 配点 | 評価の視点 | 評価点 | 備考 |
| 1．患者に自分の立場を説明している | 5 | 自分の立場を明確に説明し、診察の承諾を得ているか・自分の所属部署と名前　1点・自分が診察することについてわかりやすく説明している　4点 |  |  |
| 2．問診の実施 | 9 | 患者にわかりやすく、コミュニケーション能力を駆使して次の事柄が聞き出せているか・発熱症状の出現時期を確認している　2点・発熱時の状態(悪寒や嘔気・嘔吐など随伴症状も含む)を確認している　4点・その他、身体状態をアセスメントする上で必要と思われる内容　3点 |  |  |
| 3．身体診察の実施1) 患者が身体診察に適した体位をとれている | 3 | 患者の状態に合わせて、身体診察に適した体位を取れるよう支援しているか・疼痛の状態を聞きながら、可能な限り仰臥位や側臥位の体勢がとれるようにしている　1点・診察の手技にあわせて、必要な皮膚を露出している　2点 |  |  |
| 2）全身状態の診察手技 | 12 | 患者の状態を考慮しながら適切な手技で診察が行えているか・頭頚部診察をしている　3点・胸部診察をしている（呼吸音聴取時の聴診器の当て方）　3点・腹部診察をしている　3点・下肢診察をしている　3点 |  |  |
| 3）腰部叩打痛の診察手技 | 4 | 患者の状態を考慮しながら腰部叩打痛を確認している・腰部叩打痛を実施している　2点・腰部叩打痛の診察手技が適切に行えている　2点 |  |  |
| 4）腸腰筋徴候の診察手技 | 4 | 患者の状態を考慮しながら腸腰筋徴候を確認している・腸腰筋徴候を確認している　2点・腸腰筋徴候の診察手技が適切に行えている　2点 |  |  |
| 5）心内膜炎所見の確認 | 8 | 患者の状態を考慮しながら心内膜炎の所見を確認している・心音を確認している　2点・心音聴取時の聴診器の当て方が適切である　2点・出血斑を確認している　2点・出血斑の出現時期や疼痛の有無を確認している　2点 |  |  |
| 4．その他の観察 | 3 | 点滴挿入中の患者のライン刺入部の観察を行っている・ライン刺入部の観察をしている　2点・ライン刺入部の頭数の有無の確認をしている　1点 |  |  |
| 5．患者に身体診察が修了したことを説明している | 2 | 患者にわかりやすく、コミュニケーション能力を駆使して次の事柄が説明できているか・身体診察が終了したことを説明している　1点・診察の結果を主治医や感染症医など、患者の治療に係る医師と共有することを説明している　1点 |  |  |
| 6．報告書の記載1) 患者の身体所見を記載している | 10 | 次の内容が記載されているか・バイタルサイン　・身体診察や問診時の結果がわかりやすく記載されている・症状がない場合にも、ないということが記載されている |  |  |
| 2) 報告書に評価が記載されている | 20 | 次の内容が記載されているか・診察の結果から考え得る状況を示し、適切にアセスメントが行えている　 |  |  |
| 3)報告書に提案事項が記載されている | 20 | 次の内容が記載されているか・提案事項が適切である・提案された相手に不快感を与えない記述がされている　 |  |  |
| 総合点 | 100 |  |  |  |